



図書室だより 3号

令和3年1月8日



桐生に伝わる民話を聞いたよ！



1月8日、桐生市立図書館のご協力で、「桐生お話しの学校」のみなさんが1年生・2年生・3年生の子どもたちに民話を聞かせてくださいました。

< 題材 >

- ・十三塚（とさづか）のキノコ
- ・送り狐
- ・仁田山の機織り石
- ・もみじと山んば

「十三塚のキノコ」は西地区の堤町のお話で、昔「十三塚のあたりに生えているキノコは採ってはいけない。」と言われていたのに、怖い物知らずの男が食べてしまったというお話でした。大きな紙芝居と抑揚のある話し方に、子どもたちは興味深く聞いていました。また、「もみじと山んば」はお一人の方による語りで、山んばの声色を臨場感たっぷりに語りかけていました。ある3年生の児童は「山んばの声（大きくて）こわかったけど、おもしろかった。」と話していました。

郷土に伝わるお話を聞いて、自分たちの住んでいる地域のことを知り、「桐生を好きな子」に育つきっかけとなったと思います。

